

市史編さんNEWS

いなべ市の祭礼

民俗・文化財部会 編集委員 粕谷 亜矢子

いなべ市の祭礼は、バラエティに富んでいます。いなべ市では、長浜の曳山の流れを組む坂本の山車、石取祭、鉦と太鼓を打ち鳴らす水神祭り、お神輿を担ぐ八幡祭り、獅子舞、屋奉松明などがあり、近隣の桑名や四日市では見られない祭礼を見ることができます。

いなべ市で祭礼の調査を進めていく中で注目したのは、いなべ市から滋賀県や岐阜県に通じる道が複数あることです。藤原から鞍掛峠を越えて滋賀県多賀町に抜ける国道306号線、桑名から大安町石榑を通り石榑峠を越え滋賀県永源寺町に抜ける国道421号線、藤原から大垣市に抜ける国道365号線など、これらの道は、滋賀県といなべ市の祭礼が人々の交流によって伝播する役割を果たしたのではないかと考えています。大安町石榑では、昭和30年代初頭まで生産していた炭を桑名や四日市だけでなく、山を越えた近江八幡のほうにも出荷したといいます。炭が出荷された近江八幡には、日牟禮八幡宮で執り行われる八幡祭りという松明祭りがあり、近江八幡周辺には、他にも松明

第1回 問 生涯学習課(市史編さん係) T 72-2200

令和8年度は全3回でいなべ市市史編さん事業をお伝えします。次回掲載は11月号です。お楽しみに！



いなべ市指定無形民俗文化財「屋奉松明」
大たいまつ^{たいまつ}の炎で鳥居を焦がす氏子たち

祭りが多くあることから、大安町鴨神社の屋奉松明は滋賀祭礼の影響を受けたのではないかと考えています。

また、明治期には、江戸時代に作られた桑名の石取祭車を購入し、鉦と太鼓を打ち鳴らす石取祭をするようになりました。明治期の石取祭の伝播は、桑名市多度町や長島町などでも見られます。いなべ市に残る石取祭車は、4輪の古い形のもので、石取祭車の構造を考えるうえで注目すべき文化財でもあります。現在休止中の北勢町二之瀬の獅子舞は、岐阜から伝わったとの伝承もあります。

現在、民俗・文化財部会では、いなべ市内の祭礼や民俗芸能、文化財などの調査を行っています。特に民俗班は、祭礼当日に調査を行っており、私たちが市民の皆様に祭礼の状況を確認することがあります。その際は、ぜひ協力をお願いします！

アンケートに答えてプレゼントをゲット

Link 読者アンケート回答者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者には引換券を発送します。引換券を指定の場所に持参し、プレゼントと交換してください(賞品の発送はいたしません)。

■アンケート ①今月号で良かった内容や写真があれば教えてください。②「Link」に対する感想や広報などに関するご意見を教えてください。③いなべ市の好きなところを教えてください！

■応募方法 アンケートの回答、住所、氏名、年齢を明記の上、以下の方法で応募してください。

■郵送での応募 〒511-0498 いなべ市北勢町阿下喜31 いなべ市役所 広報秘書課「Link 読者アンケート」係

■応募フォームでの応募 応募フォームはこちら▶

■応募期限 9月24日(木)



プレゼントを提供していただけるお店を
随時募集しています。詳細はこちらから▶



読者の声

- 子どもたちの元気な笑顔が素敵です！(50代)
- 施設が出来てから利用したことがなく、どのような施設で、どんなことをしているのかが、よく分かりました。また利用してみたいと思います。(30代)
- 健康推進課の記事が、健康のために、役立てられそうで、良かったです。(60代)
- いつもいなべ市のイベント情報が載っていて、家族全員、活用させてもらっています。(30代)
- いなべ市温水プールの様子と写真がわかりやすかったです。私も泳ぎを教えてもらいたくなりました。(50代)
- いなべ市の情報がよくわかり、届くのが楽しみです。(80代)

今月のプレゼント 2人



オリジナル梅シロップ

施設から：梅林公園の梅を使用したオリジナルシロップ。一粒ずつ丁寧に手摘みした多品種の梅と、種子島産の粗糖のみを使いじっくり熟成抽出しました。ミネラル豊富な滋味深い味わいをお楽しみください。

店名 いなべ市梅林公園 あわい
定休日 不定休
営業時間 10:00～18:00
住所 藤原町851番地
電話 37-7161

